

社会福祉法人中信社会福祉協会
地域サポートセンター 地域連携推進会議議事録

- 1 日時 令和7年12月12日（金） 15時30分から16時45分まで
- 2 場所 グループホームやまぶき
- 3 構成員

利用者代表	1名（体調不良のため欠席）
利用者家族代表	1名（入居者のご家族）
福祉に識見のある方	1名（元あいアドバンス今井施設長）
地域の方	1名（芳川地区長会連合会会長）
職員	2名（センター長・やまぶき担当職員）
- 4 議事録
 - (1) 開会
 - (2) センター長あいさつ
 - (3) 構成員自己紹介
 - (4) 趣旨説明

地域連携推進会議の概要、目的について説明
 - (5) 中信社会福祉協会の概要説明
 - ア 中信社会福祉協会の概要、各施設・事業所の説明
 - イ グループホーム「やまぶき」の開所から、現在の入居状況、利用者の日常生活の様子、世話人の業務などを説明
 - (6) 事業報告・事故ヒヤリハットの報告
 - ア 4月、6月のヒヤリハット（誤薬）2件について、内容と対策について報告
 - イ 令和6年度の食堂エアコン更新工事について報告
 - ウ 令和7年度のIHクッキングヒーター更新について報告
 - (7) 質疑応答
 - グループホーム「やまぶき」では、第1避難場所を松本国際高等学校、第2避難場所を芳川小学校としています。これでいいでしょうか。（センター長）
 - 小屋町公民館は、一時的な集合場所（避難場所）ではあるが、避難場所ではないです。備蓄の物資もありません。本当に物資が必要な避難場所というならば、松本国際高等学校です。しかし、収容できる人数にも限りもある。有事に備え、1週間分の非常食、大人1日2ℓの水、（浄水器があると望ましい）、トイレを備えておくのがいいと思います。（町会長）

- 皆が触れ合える場所をつくっていきたいと思っておりますが、年々難しくなっています。新しい世代の方との温度差を感じます。この周辺では福祉ひろばで「ふれあいサロン」を平日に開催していて、「都波岐の杜」があった時代には、「都波岐の杜」の利用者も参加してくれていました。「ふれあいサロン」ではかるたやゲーム、ニュースポーツなどを楽しんでいます。今、一番困っているのは、町会費の中には交通安全や消防団、防犯灯の電気代などが含まれて町会を運営しているのですが、入らない人、脱会している人もいて、その方たちは何も困っておらず恩恵を受けている形になっていることです。回覧板で町会の運営などについて周知しようと思っても、未加入の方や脱会した人たちのところに回覧板がまわらないので伝わらないのです。

野溝の方で、障がい者のグループホームを建てようと地域の方たちに説明をしたら、反対されて、建てることができなかつたということがありました。この近くに未満児保育の保育園も最近建ったのですが、その際にも中には反対の声がありました。(町会長)

- 地域の方とうまく付き合っていく、理解を得るといふことは大切だと思えます。しかし、障がいのある人がどこで暮らそうと自由なことなのに、地域住民の方の反対の声でその自由が奪われることが残念です。(福祉に識見のある方)
- 障がいのある人ない人、お互いに理解するには、まずは「知ること」が大切だと思えます。この芳川地区は若い方も多く、町会に入らない方も増え、運営も大変とお聞きしています。(家族代表)

(8) 閉会

以上